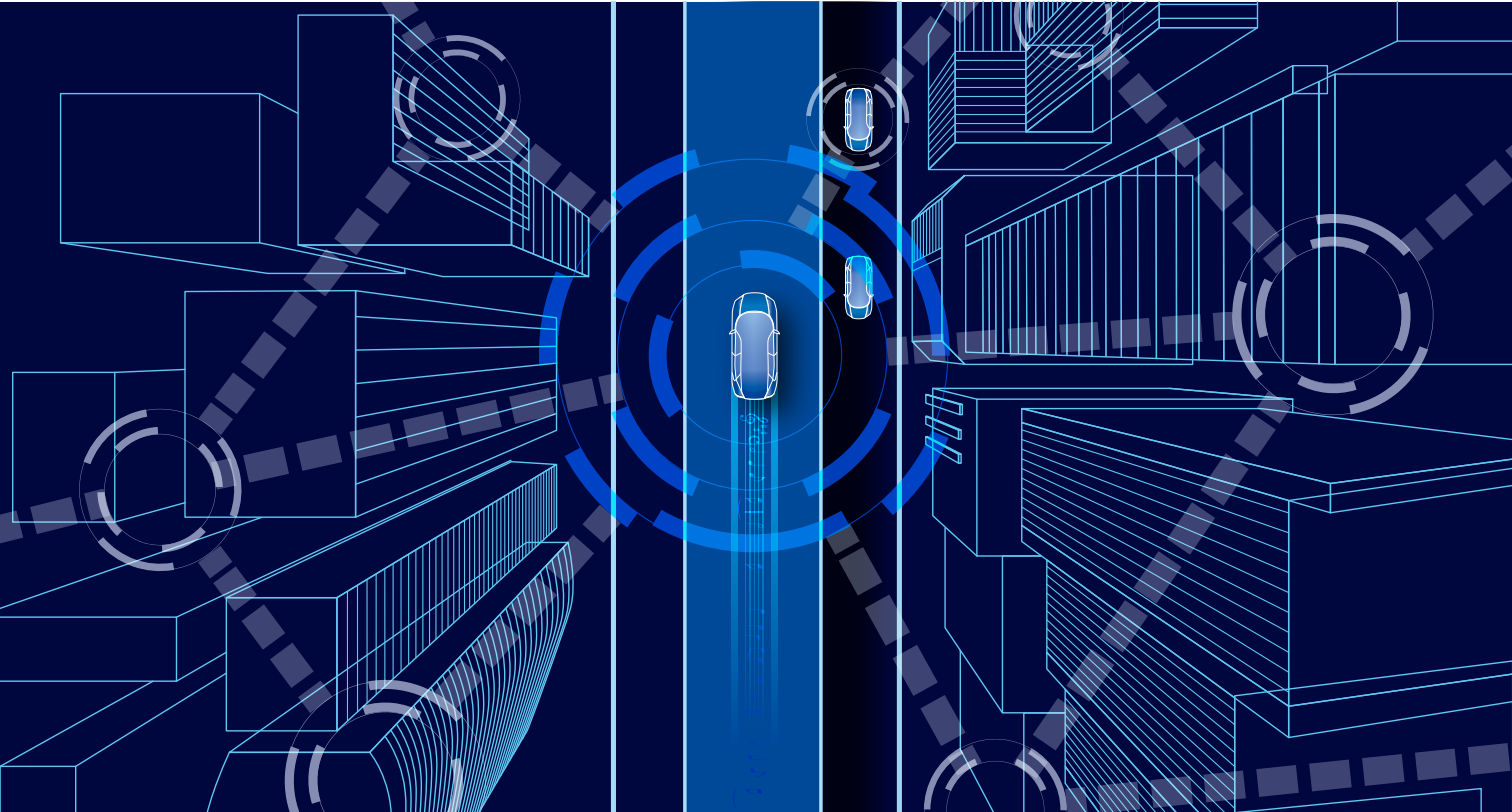


ALPINE REPORT



第52期決算報告書

2017年(平成29年)4月1日～2018年(平成30年)3月31日

証券コード：6816

株主の皆様へ

新たなアルパインへと進化し、
さらなる価値創造を目指します。



株主の皆様には、平素から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2017年度、アルパインは2020年度に向けて策定した企業ビジョン「VISION2020」(2020年度売上高3,300億円 営業利益率5%)の達成を目標として、「第14次中期経営計画」に基づき国内技術・生産子会社の再編等による構造改革や、ナビアプリ・ソフトやHUD(Head Up Display)分野における資本・業務提携など、強固な事業基盤の確立に努めました。

ビジネス面においては、国内市販市場向けアルパインブランドの車種専用製品や中国市場における欧州自動車メーカー向け純正品の販売の伸長、為替が円安で推移したことにより売上高が増加しました。また営業利益についても、為替による増収効果に加えて研究開発費の効率化など固定費の削減を進めたことにより増加しました。

アルパインがビジネスを展開する自動車市場では、CASE (Connected, Autonomous, Shared & Services, Electric)と呼ばれる新しいトレンドによるパラダイムシフトが起っています。業種・業態を超えた技術革新と企業



間競争が繰り広げられながら、人とモビリティ、社会とモビリティの新しい関係が誕生しようとしています。そうした中で、アルパインはグローバル市場を見据えながら、CASEに対応する技術開発や事業を以前から積極的に展開してきました。そして昨年、激しい環境変化に適応し、中長期的に成長を続けるため、親会社であるアルプス電気との経営統合計画を発表し、2019年1月「アルプスアルパイン株式会社」の発足に向けて準備を進めています。新会社のスタート時点から一気にビジネスを加速することができるよう、体制や事業戦略の議論を行っています。

今回の経営統合では、開発リソースや知的財産といった経営資源の相互活用や間接部門の効率化による企業体質の強化とあわせて、事業面での様々なシナジー効果が期待されます。車載事業領域においては、アルパインのシステム技術、ソフトウェア技術とアルプス電気の入力デバイス、センシングデバイス、通信デバイスを組み合わせることにより、未来の自動車に求められる車載HMI (Human Machine Interface) システムの提案力が高まります。OEMビジネスの顧客である世界の自動車メーカーの皆様からの高度化するニーズに高いレベルでお応えすることが可能となります。

また新事業領域におきましては、アルパインが音響機器事業や情報・通信機器事業で蓄積してきた固有技術はもちろん、世界各国の市販市場でのブランドビジネスの経験をアルプス電気が擁する広範な市場・顧客チャンネルで生かすことにより、新たなビジネスモデルの創出を目指します。

AI、ビッグデータによる第四次産業革命の市場革新の中で、電子部品事業と車載情報機器事業を中核としてエレクトロニクスとコミュニケーションで人々の生活に貢献し続ける「価値創造型企業集団」の実現に挑戦していきます。

アルプスグループは、連結決算で売上高8,500億円を超える規模の企業集団です。これからは、アルプス電気とアルパインの持つ豊富な経営資源をより活用しやすくとともに、意思決定を一層迅速化して更に成長を加速させ、目標とする連結売上高1兆円企業に向けて事業展開を行っていきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長

米谷信彦

アルプス電気とアルパイン経営統合の進展について

去る4月26日、「アルプス電気とアルパイン経営統合の進展について」説明会を開催しました。概要は以下のとおりです。今後、計画どおりに経営統合を進めてまいります。

自動車産業では「CASE」(Connected(つながる車), Autonomous(自動運転), Shared & Services(シェアリング), Electric(電動化))という大変革が始まろうとしています。EHII(Energy, Healthcare, Industry, IoT)市場においては多種多様な顧客とさまざまなビジネスモデルが生まれるものと予想されます。このような激動と変革の時期において、アルプス電気とアルパインが経営統合を行うことで、両社の強み、即ちアルプス電気の電子部品でコアデバイス

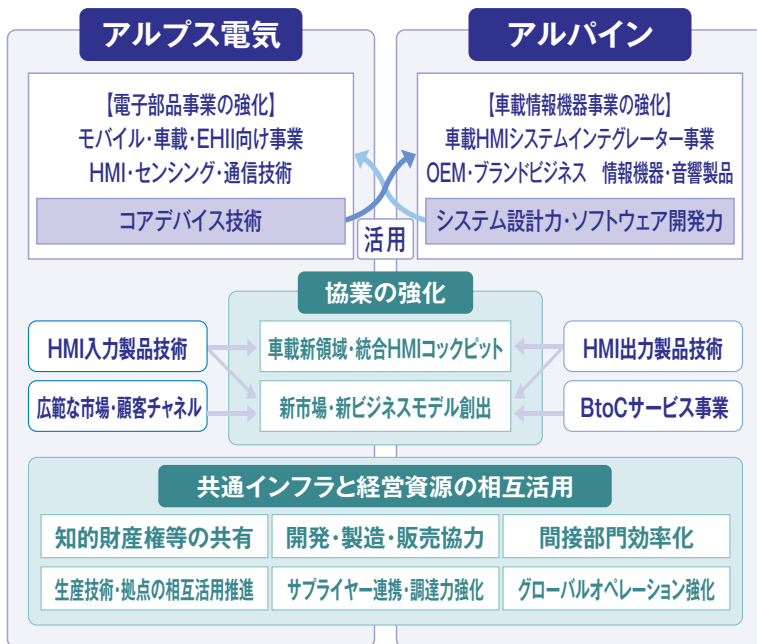
を深耕して製品力を高める「縦のI型」と、アルパインの広範なデバイスや技術をシステムに仕上げる「横のI型」を合わせて「T型」企業(Innovative T-shaped Company)になろうと決意しました。

この「T型」企業になることで、第2次中期計画迄には売上高1兆円、営業利益率10%達成を目標とする「ITC101」を掲げ、自動車市場での車載新領域「CASE+Premium HMI」と、社会で大きな役割を成すであろう「EHII」領域を中心に、社会に貢献し、持続的成長が可能な企業を目指します。

本経営統合の狙い

2017年7月27日 公表資料

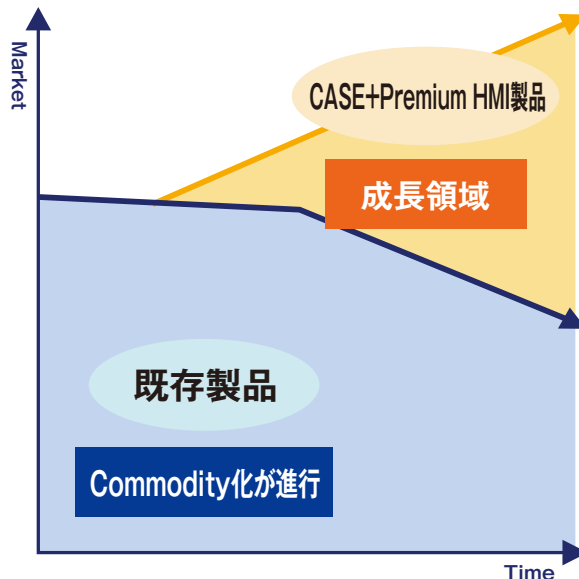
グループの成長戦略:売上高1兆円企業グループに向けた持続的な価値創造型企業集団への転換



統合シナジーによる車載新事業の創出

2018年4月26日 公表資料

車載事業にてアルプス電気とアルパイン間の協業を強化
二極化する車載市場で、魅力ある製品創出により、収益性ある事業を確立





CASE+Premium HMI領域への事業拡大

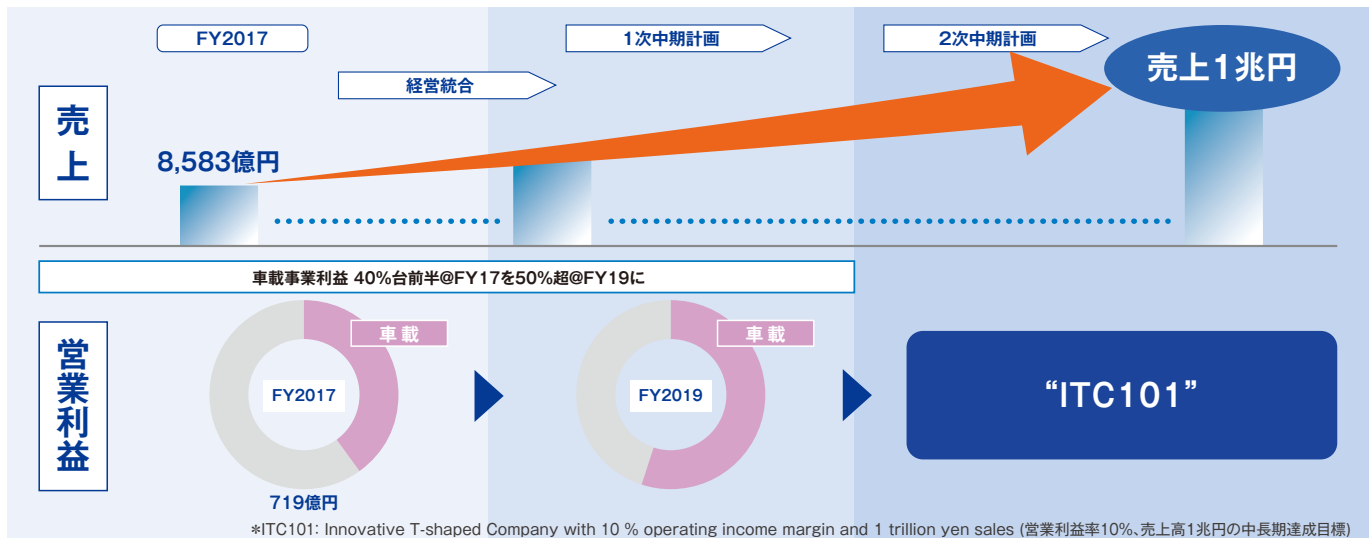
2018年4月26日 公表資料

「T型企業」への進化



統合後の中長期目標 “ITC101”

2018年4月26日 公表資料



*ITC101: Innovative T-shaped Company with 10 % operating income margin and 1 trillion yen sales (営業利益率10%、売上高1兆円の中長期達成目標)

事業環境と2018年度 売上・収益予想

事業環境

自動車産業の大転換時代に向け、自動車メーカーやメカサプライヤーは変革の鍵となるCASE(Connected, Autonomous, Shared&Services, Electric)に全方位で臨む。

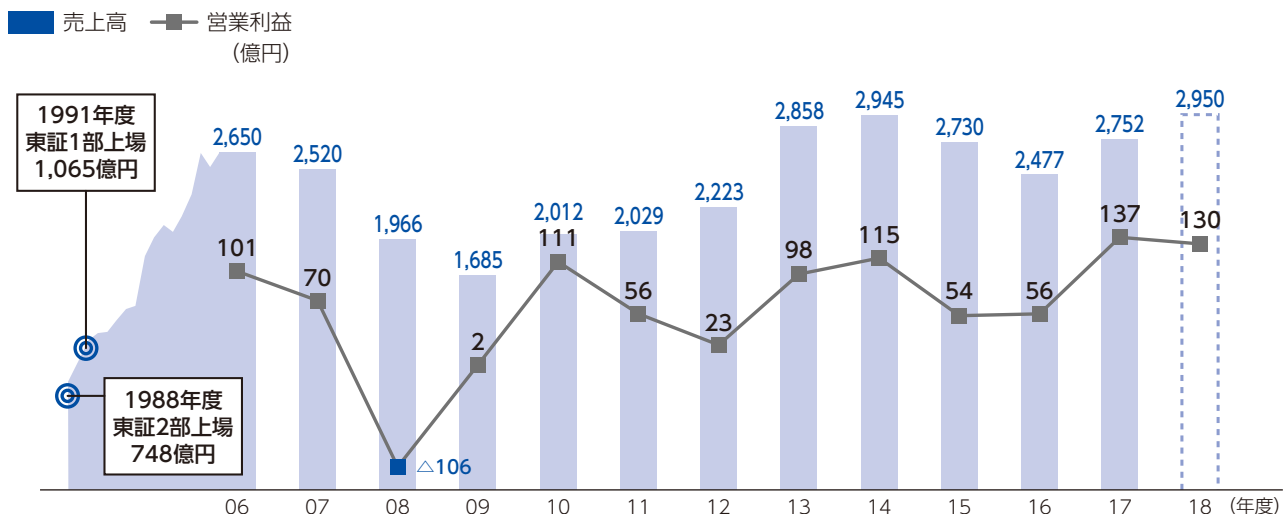
重点項目

- ・アルプス電気とのシナジーを武器にした、ユニークな事業シナリオの構築
- ・CASEへの対応



2018年度 売上高2,950億円、営業利益130億円を目指す。

売上高・営業利益の推移

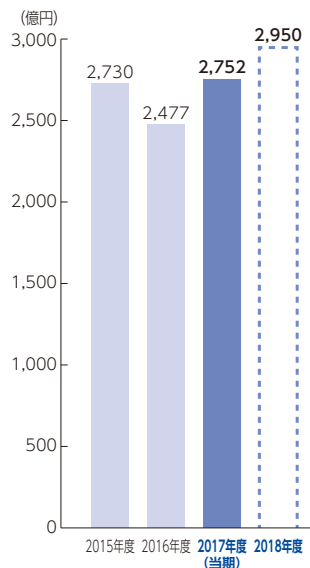




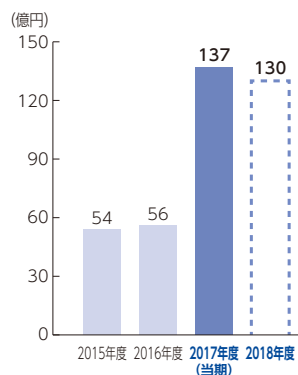
経営指標ハイライト

主要経営指標の推移

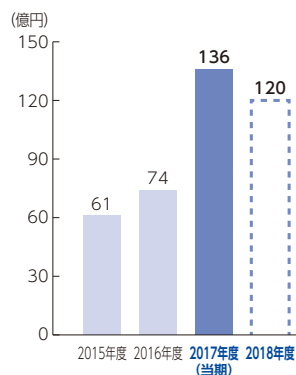
売上高



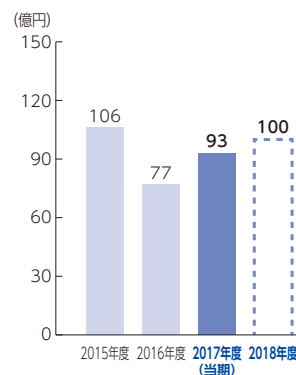
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



2018年度 (2019年3月期) 連結業績予想

売上高	2,950億円 (前期比 7.2%増)
営業利益	130億円 (同 5.4%減)
親会社株主に帰属する当期純利益	100億円 (同 7.2%増)

(2018年4月26日時点)

2018年度 (2019年3月期) 配当 (予定)

中間配当	15円
期末配当	15円

(2018年4月26日時点)

事業報告

音響機器事業



スピーカー・アンプなど

プラス要因



- ・市販市場向け拡販
- ・薄型・小型・軽量の製品の拡販



マイナス要因

- ・情報・通信機器との融合

売上高 | **540** 億円 前期比 **17.5%増**

次期予想 | **555** 億円 (前期比 **2.8%増**)

情報・通信機器事業



ナビゲーション・ディスプレイなど

プラス要因



- ・市販市場向け拡販
- ・中国での売上拡大



マイナス要因

- ・一部自動車メーカー向けディスプレイ製品の受注端境期

売上高 | **2,212** 億円 前期比 **9.7%増**

次期予想 | **2,394** 億円 (前期比 **8.2%増**)

地域別売上比率

北米 33%

欧州 35%

アジア・他 20%

日本 12%



<アルパインカスタマイズカー'18年モデル登場>

昨年度より発売を開始した「アルパインスタイルカスタマイズカー」ですが、今年はよりアルパインらしさを追求しました。

従来のデザインコンセプトである「スポーツ、スポルタン(質実剛健)、シャープ、シンプル、スマート」に加え、エクステリアのデザインを損ねることなくカメラやライトを組み込んだ「セーフティー」を加えた「5S+1S」で、より魅力あるカスタマイズカーを目指しています。



カスタマイズカー'18モデル発表

これからも、お客様がクルマと過ごす時間を更に上質なものにするためのご提案を続けてまいります。

<Apple CarPlay、Android Auto対応9インチナビゲーションiLX-F309発売>

北米向け市販モデルとしてiLX-F309を発売いたしました。2DINしかスペースのないクルマでも、ディスプレイ部が空間に浮かび上がるような「フローティング構造」を採用することで、9インチの大画面が装着できるようになりました。



iLX-F309(愛称:Halo9)

美しいフィッティングはもちろんのこと、前後の角度、上下の高さも調節でき、最適な形でお使いいただけるようになっています。

Apple CarPlay、Android Autoにも対応しているほか、デジタルラジオにも対応しています。

これからも、お客様のニーズに合わせた魅力ある製品の創出に取り組んでまいります。

※Apple CarPlayは、米国及び他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。Android Autoは、米国及び他の国々で登録されたGoogle Inc.の商標です。

トピックス

<自動車メーカー各社より、名誉ある賞を受賞>

今年も複数の自動車メーカーより、当社の顧客価値創造の取り組みに対して各種賞をいただきました。

GM(General Motors)からは「Supplier of the Year」を4年連続で受賞しました。高い品質や革新的技術をもった製品を実現したサプライヤーのみに贈られる大変名誉ある賞です。

また、VOLVOからは、「Award for Excellent Supplier」と、「Volvo Car Quality Excellence Award」をダブル受賞いたしました。

国内では、株式会社ホンダアクセスより、リアカメラを活用した運転サポートシステムの開発において、「優良感謝賞 開発賞」をいただきました。こちらは3年連続での受賞です。

これからも自動車メーカーのご期待に応えるべく、高い付加価値の創出に努めてまいります。



<国内市販製品が各賞を受賞>

車種専用・大画面カーナビのビッグXシリーズが、株式会社J.D.パワー アジア・パシフィックによる「2017年日本ナビゲーションシステム顧客満足度調査<市販ナビゲーションシステムカテゴリー>」の<据え置き型ナビセグメント>において、総合満足度1位を受賞しました。2012年から6年連続での“お客様満足度”ナンバーワン受賞です。



更に、株式会社イード主催のResponseカーナビアワード2017「市販カーナビ部門」で顧客満足度 総合部門 最優秀賞を受賞。また、音質が優れた製品を表彰する「オートサウンドウェブ グランプリ2017」の最高賞も2年ぶりに獲得いたしました。

今後もお客様のカーライフを豊かにするために、魅力ある製品の開発に努めてまいります。



＜個人株主向け会社説明会開催＞



昨年11月2日、東京モーターショー会場近くのホテルにて「個人株主向け会社説明会」を開催いたしました。

説明会においては、代表取締役社長 米谷、常務取締役 梶原、遠藤より、アルパインの事業概要や将来の事業の方向性、アルプス電気との経営統合に向けた取り組み等についてご説明し、参加者の皆様からは多くのご質問、ご意見をいただき、活発な意見交換の場となりました。

当社に対するご理解を深めていただくためにも、引き続き、株主の皆様とのコミュニケーションの機会を大切にまいります。

＜東京モーターショー2017に出展＞

昨年10月25日から11月5日にかけて開催された「東京モーターショー2017」に、当社も出展いたしました。

「感動の移動時間・空間の提供」をコンセプトに、「ALPINE STYLE プレミアムスペースデザイン」、「アルパインUXシアター」、「Alpine Premium Sound System」の3コーナーで展示を実施。来場者の皆様に製品・アルパインの描く未来図を五感で体感いただきました。

これからもアルパインの目指す方向、魅力ある製品のPRに努めてまいります。



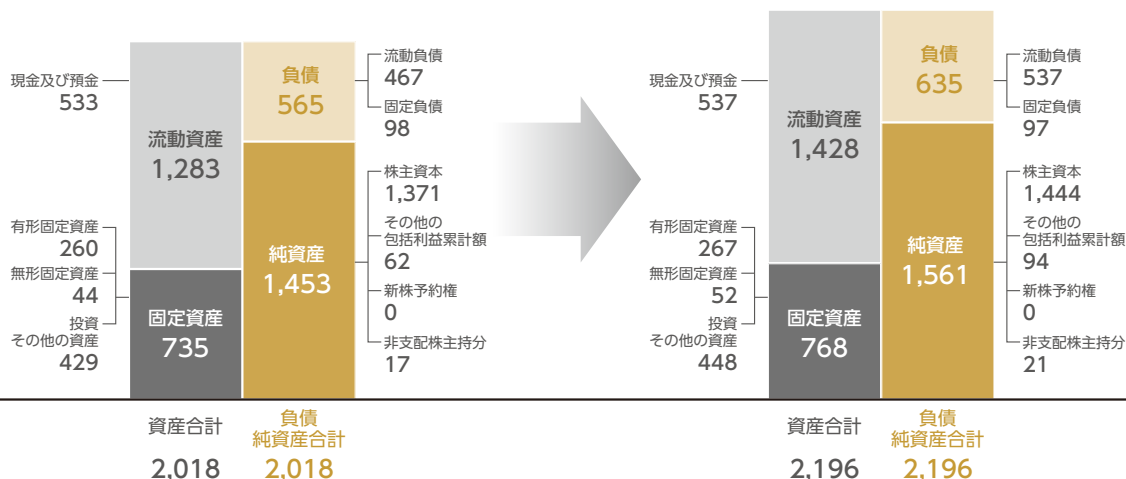
連結財務諸表(要旨)

連結貸借対照表の概要

(単位：億円)

前期末[第51期] (2017年3月31日現在)

当期末[第52期] (2018年3月31日現在)



資産の部

現金及び預金の増加4億円、受取手形及び売掛金の増加53億円、たな卸資産の増加21億円、繰延税金資産(短期)の増加9億円、その他流動資産の増加56億円、有形固定資産の増加6億円、無形固定資産の増加8億円、投資その他の資産の増加18億円等により、前連結会計年度末比177億円増加の2,196億円となりました。

負債の部

支払手形及び買掛金の増加26億円、未払費用の増加16億円、未払法人税等の増加5億円、賞与引当金の増加4億円、製品保証引当金の増加5億円、その他流動負債の増加11億円、退職給付に係る負債の増加2億円等により、前連結会計年度末比69億円増加の635億円となりました。

純資産の部

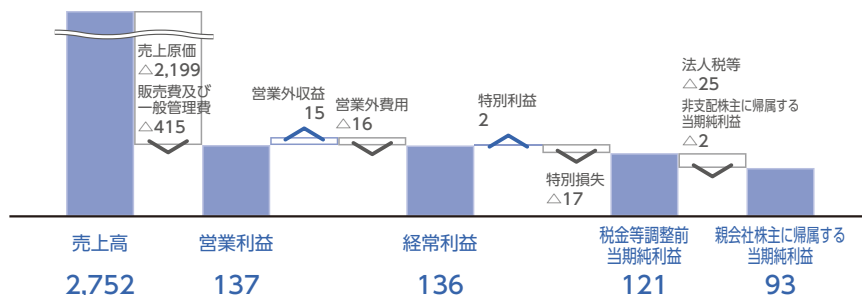
利益剰余金の増加72億円、その他有価証券評価差額金の増加3億円、為替換算調整勘定の増加19億円、退職給付に係る調整累計額の増加8億円、非支配株主持分の増加3億円等により、前連結会計年度末比107億円増加の1,561億円となりました。



連結損益計算書の概要

(単位：億円)

当期[第52期] (2017年4月1日～2018年3月31日)

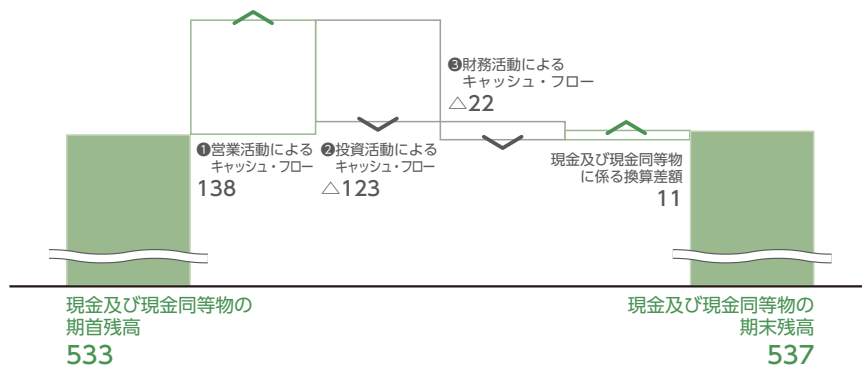


連結売上高2,752億円(前期比11.1%増)、営業利益137億円(前期比145.0%増)、経常利益136億円(前期比83.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益93億円(前期比20.2%増)となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位：億円)

当期[第52期] (2017年4月1日～2018年3月31日)



- ①営業活動によるキャッシュ・フロー**
税金等調整前当期純利益121億円の計上、減価償却費70億円の計上、仕入債務19億円の増加及び未払費用12億円等の増加等による資金の増加と、売上債権36億円の増加、たな卸資産14億円の増加及び法人税等の支払32億円等による資金の減少です。
- ②投資活動によるキャッシュ・フロー**
有形固定資産の取得63億円、無形固定資産の取得20億円、貸付けによる支出42億円等による資金の減少です。
- ③財務活動によるキャッシュ・フロー**
配当金の支払20億円等による資金の減少です。

詳細は当社ホームページをご覧ください

 アルパイン IR

検索

会社の概要

会社概要 (2018年3月31日現在)

社 名	アルパイン株式会社
英 文 社 名	ALPINE ELECTRONICS, INC.
本 社	〒145-0067 東京都大田区雪谷大塚町1-7 TEL 03(5499)8111 (代表)
い わ き 本 社	〒970-1192 福島県いわき市好間工業団地20-1 TEL 0246(36)4111 (代表)
設 立	1967年5月
発 行 可 能 株 式 総 数	160,000,000株
発 行 済 株 式 総 数	68,952,260株(除 自己株式 832,241株)
資 本 金	25,920百万円
グ ル ー プ 従 業 員 数	13,175名(連結ベース32社合計)
国 内 関 係 会 社	アルパインマーケティング株式会社 アルパインマニュファクチャリング株式会社 アルパイン情報システム株式会社 アルパインビジネスサービス株式会社 アルパインカスタマーズサービス株式会社 他4社
海 外 関 係 会 社	アルパイン・アメリカ アルパイン・ヨーロッパ アルパイン・中国 アルパイン・アジア・パシフィック 他29社

役員の状況 (2018年3月31日現在)

氏 名	当社における地位及び担当または主な職業	
米 谷 信 彦	代表取締役社長	
梶 原 仁	常務取締役	管理担当
水 野 直 樹	常務取締役	営業担当
遠 藤 浩 一	常務取締役	技術・開発担当
小 林 俊 則	取 締 役	欧州担当
田 口 周 二	取 締 役	品質担当
池 内 康 博	取 締 役	製品設計担当
河 原 田 陽 司	取 締 役	生産・資材担当
井 上 伸 二	取 締 役	営業副担当 (OEM担当)
石 橋 浩 司	取 締 役	製品設計副担当
片 岡 政 隆	取 締 役	アルプス電気(株)取締役相談役
森 岡 洋 史	取 締 役 常勤監査等委員	
小 島 秀 雄	取 締 役 監査等委員	公認会計士
長 谷 川 聡 子	取 締 役 監査等委員	弁護士
柳 田 直 樹	取 締 役 監査等委員	弁護士

注) 2018年5月1日付で、取締役 小林 俊則は管理担当に、取締役 池内 康博は欧州担当に、取締役 石橋 浩司は製品設計担当に担当業務が変わりました。

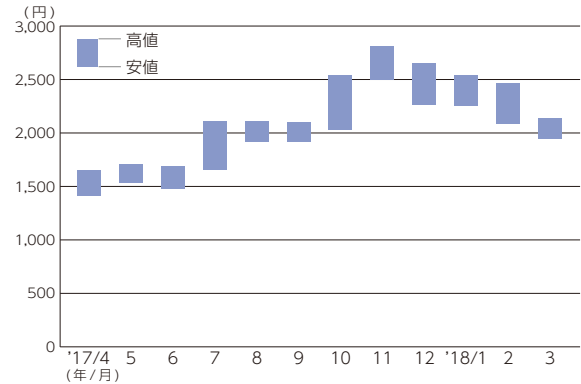


大株主の状況(2018年3月31日現在)

順位	株 主 名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
1	アルプス電気株式会社	28,215	40.92
2	OASIS INVESTMENTS II MASTER FUND LTD.	3,687	5.35
3	GOLDMAN, SACHS& CO. REG	3,326	4.82
4	DEUTSCHE BANK AG LONDON GPF CLIENT OMNIFULL TAX 613	2,538	3.68
5	DB AG LONDON PB-ELLIOTT INTERNATIONAL, L.P 667	2,002	2.90
6	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,672	2.43
7	MSCO CUSTOMER SECURITIES	1,420	2.06
8	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,318	1.91
9	MLI FOR CLIENT GENERAL NON TREATY-PB	1,140	1.65
10	NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE IEDU UCITS CLIENTS NON LENDING 15 PCT TREATY ACCOUNT	1,029	1.49

※持株比率は、自己株式を控除して計算しています。

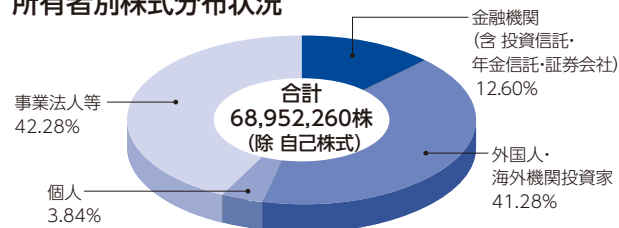
株価推移



ウェブサイトのご案内



所有者別株式分布状況



アルパインのウェブサイトでは最新情報を掲載しています。
製品情報をご覧になりたい場合は、「アルパイン」で検索、IR情
報をご覧になりたい場合は、「アルパイン IR」で検索して下さい。
(アルパイン公式サイト URL:<https://www.alpine.com/j/>)

株主メモ

決 算 期 日	年1回 3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
基 準 日	定時株主総会については、3月31日。 その他必要がある時は予め公告いたします。
定 時 株 主 総 会 公 告 掲 載	6月下旬 電子公告により、当社ホームページ (http://www.alpine.com/j/investor/index.html) に掲載いたします。尚、 やむを得ない事由により、電子公告が できない場合は、日本経済新聞に掲載 いたします。 ※決算公告に代えて、貸借対照表、損益 計算書はEDINET（金融商品取引法に 基づく有価証券報告書等の開示書類に 関する電子開示システム）にて開示し ております。
上 場 証 券 取 引 所 証 券 コ ー ド 売 買 単 位 株 主 名 簿 管 理 人 特別口座の口座管理機関	東京証券取引所市場第1部 6816 100株(1単元) 三菱UFJ信託銀行株式会社

【株式に関するお手続き】	
お手続き・ご照会の内容	お問い合わせ先
○郵便物の発送と返戻 ○支払期間経過後の配当金 ○特別口座から一般口座への振替	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 (郵送先)〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 (連絡先)東京都府中市日鋼町1-1 Tel.0120-232-711 (通話料無料)
○単元未満株式の買取・買増請求※ ○住所・氏名変更 他	口座を開設されている証券会社等にお問い 合わせ下さい。 ※但し、証券会社に口座を開設されていない 株主様は、三菱UFJ信託銀行株式会社にお 問い合わせ下さい。



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しております。